

隨泉寺寺報

平成18年(2006年) 4月号 第428号

TEL 082-892-0217 <http://www.ttec.co.jp/~zuisenji/>

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

春季永代経法座

講師 源光寺住職 源 道明師

講題 「おまこと一つに救われるお法り」

「ひとの 生をうくることはかたく やがて 死すべきもの
いま いのちあるは ありがたし 正法(みのり)を耳にするはかたく
み仏の 世に出づるも ありがたし」 『法句経』一八二

わたしたちは、この世界に人間として生まれてきました。他の生きものとしてではなく、人と生まれてきたのです。

今から約二千五百年前、北インド・カピラ城の王子シッダッタ太子(後の釈尊)がお生まれになった時、太子は、七歩歩(あゆ)まれて、天地を指して「天上天下、唯我独尊」と、宣(の)べられたと伝えられています。

一人一人が、かけがえのないいのちであり、尊いいのちです。

わたしの「いのちの尊さ」に目覚めることは、他のいのちを見下し、自分ひとりの力で生きていたいあがり、自分だけが良ければいいということではありません。4月8日ははなまつりです。

3月25日日本願寺の新門さま、大谷光淳様、古川流豆美(るずみ)様の結婚式がありました。おめでとうございます。

4月の法座予定

- 4月 9日……………掃除 出口・宮原
4月 14日昼席午後1時より……………春季永代経法要
4月 14日夜席午後7時半より……………出張法座 出宮集会所
4月 15日朝席午前10時より……………春季永代経法要 仏婦総会 おとき
4月 15日昼席午後1時より……………春季永代経法要
5月 2日午後6時より……………門信徒会本部役員会



☆婦人部総会 4月15日(土) 午前11時30分～

仏教婦人会の総会を開催します。今年は役員改選のときです。これからの隨泉寺仏教婦人会をどう方向付けるか大切な総会です。



☆お願い

住職からのお願いです。私は結婚した時は54キロでした。今79キロです。1年で1キロずつ太っている計算です。この調子で行くと死ぬ時は100キロを越えます。▲今テレビで【わが青春のグループサウンズ】という番組をやっています。あの頃、同じ時代の憧れの人たちです。しかしどのグループの歌手も髪は薄くなるし、おなかには出ているし、誰かよくわからないほどです。がっかりするやら、安心するやら…。よく考えてみると私も同じなのですよ。だんだん腹は出てくるし、髪は白髪です。▲今年は50代60代の方のお葬式が多くて、私もそろそろ健康診断ぐらいは行かなくてはと思い、行って来ました。高コレステロールということで、食事を気を付けてくださいという事でした。苦い苦い、鼻をつままないといじめないような漢方の薬をもらい、毎日1時間ぐらい歩きなさいといわれました。それと朝ごはんを抜いて、**間食は一切駄目**という事でした。歩くのはなかなか実行できません。毎日歩いてお参りに行ったらいいのですが、時間がかかるのでそれも出来ません。何しろ隣のおうちに行く時も車で行くのですから。

▲一月たったので病院に行ったら、全然体重が落ちていませんでした。「朝ごはんは抜いていますか」と聞かれたので「はい」と申しましたが、「昼ご飯も抜きましょうか」と、いとも容易く言われるので、それを考えたら、めまいがしました。私はご飯が大好きです。それを食べられないのでしたら、太ったほうがましです。

▲そこでお願ひですが、お参りに行った時、お菓子は遠慮させてください。お菓子も好きですし、果物も大好物です。わざわざお参りの日に手作りでお菓子を作って、待っていてくださるおうちもありますが、大変ありがたいのですが、目の前があると誘惑に勝てそうにありません。お茶だけで結構です。どうか**私をもう10年生かす**と思ってお茶だけにして下さい。

☆御礼

永代経懇志 金 貳拾萬円 竹内 和博殿 故 竹内 正博様 特別永代経志として
永代経懇志 金 拾萬円 佐々木 勇司殿 故 佐々木トミコ様 特別永代経志として

☆御礼

門信徒会へ 金 一封 竹内 和博殿 故 竹内 正博様 香典返しとして
金 一封 佐々木 勇司殿 故 佐々木トミコ様 香典返しとして

東井義雄 4月カレンダー

感動のある人生 ころの味を大切に

近頃の子どもは、私たちの子どもの頃とは違った金銭観をもっているようです。「お金は生きて太っていくものだ。貸せば利子がつき、借りれば利子をとられる。その太り方は、何年かたてば、決してばかにならないものになる」と考え、きょうだいでも利子を取り合ってお金の貸し借りをしているといいます。



ある中学一年の女生徒は作文に「私は高校を出たらすぐ結婚する。結婚したらなるべくはやく離婚し、いしゃ料をとって貯金する」と書いたといいます。

小学生の頃から、お手伝いはもちろん、弟や妹に勉強を教えるのも、テストで百点をとるのも、みんなそれが財源になるように育てられているからでしょう。

これから厳しい世の中を生きぬいていかなければならない子どもたちです。そういうがめつきも、悪いとばかりはいえないでしょう。しかし、お金の頭に縛られてしまうと、お金を超えたところにある、人生の味やよろこびが見えなくなってしまう危険があります。生きるよろこび、感動の味やえない子どもに育ててしまっは、とり返しのつかないことになってしまいます。そのためには、まずお母さん方が、感動のある人生、ころの味を大切にしておくお母さんになってくださらなければなりません。

イチローはすごい



▲体中の血が沸き立つような刺激的な出来事というのは、良い事にしろ悪いことにしろ、人生の中には数える程しかありません。平和な現代に生きる大部分の人達にとっては、人生の時間の99%は、平凡な出来事の繰り返しに過ぎません。▲しかし、久しぶりに興奮しました。それは野球で王ジャパが世界一になったからです。ちょうどお彼岸の中日でゆっくりとテレビ観戦というわけにはいきませんでした。途切れ途切れにラジオで応援していました。イチローという選手はすごいですねー。【孤高の天才バッター】イチローといわれる彼の

すごさは、努力を見せずに、当たり前のようにやっているところでしょうか。しかし彼はこの試合のために、オフにお父さんと約束していたゴルフをキャンセルして、体調作りをして望んだそうです。皆が遊んでいるときに。

毎日必ず早出をして特打ちををしていたのは彼だけだったそうです。決勝戦の当日も、皆より一時間も早く球場に入って汗を流していたそうです。その彼が終わった後話したのは【素晴らしい仲間に出会ったのが最高だった】です。▲私達はどうまく行った時は自分の所為にし、失敗した時は他の原因を見つけようとします。仕事でいえば、部下のレベルが低いから、上司が石頭だから、商品が良くないから、景気が悪いから、国が悪いから、社会が悪いから、時代が悪いから……。そう考えている限り、解決は久遠にやってきません。原因が全て自分の外にあるからです。▲仏教の一番の特徴は【縁起の法】です。世の中のことはすべてこの法に従っているのです。それは原因があり縁に拠って結果を生むという事です。



『因・縁・果』の説明ではよく、花は、種（因）が有って、それに土・水・空気・太陽の働き（縁）が有ってはじめて、花びらが開く（果）と言う喩が使われますが、正にこの通りです。『ここでお会い出来たのも、何かのご因縁で』と言う挨拶をしますが、これは仏教の『因・縁・果』を言っているのですね。人間には分からないけれど、宇宙で起る現象（果）には、必ず原因（因）と条件（縁）があると言う事ですね。要因の連鎖と言う事は、別々に存在する要因同士が同時に発生する事を言いたいのだと思いますが、それだけでは無く、『因・縁・果』の果が次の因になって次の果を生み、また次の因へと無限に繋がる『因・縁・果』も含めての事だと思えます。

▲飛行機事故、交通事故も、企業で起るクレームの再発防止対策も、無数の『因・縁・果』を分析し続ける事に尽きるのではないかと思います。この世は自分の思い通りにはならないものです。しかし、それは分かっているでも良い結果を求めるのは極自然な事でありましょう。でも仏教では、良い事も悪い事も、それは人間の頭で分別した事で、大きな世界から見れば、人間が良いと思う事が、実は悪い事になるかも知れません、良かったと思う結果が、実は、悪い結末が待っているかも知れないと説きます。仏教では、これを善悪一如と言う難しい表現を致します。善も悪も区別出来無い一つの事です。善とか悪は人間の浅はかな分別で決めたものです。▲イチロー選手はまさしくこの【縁起の法】にもとずいて自らは努力し、そしてたまたま出た結果は当然のごとく受け止め、又あらたな出遇いをよろこぶというものです。